

岡山理科大学 卒業生の皆様へ

岡山理科大学獣医学部設置に関して、このたび愛媛県が国会に提出された文書をめぐり、卒業生皆様に大変ご心配をおかけして 있습니다ことを、まずもってお詫び申し上げます。先日の会見で一連の経緯について述べさせていただきました。既にご覧いただいていることと存じますが、あらためて、卒業生の皆様にご説明をさせていただきます。

【獣医学部設置までの経緯】

学園は、学生の皆様に社会に貢献できる人材として送り出すことを使命とし、教育環境の整備に努めながら、常に時代のニーズを取り入れた学部学科の改組を積極的に行ってきました。また、十余年、社会の要請に応える獣医師と獣医関連専門家を養成し、愛媛県・今治市との連携によって地域社会に貢献するために、獣医学部の新設に向けて真摯に取り組んでまいりました。審議に関わった有識者の皆様が述べられている国家戦略特区の認定のプロセスや、文部科学省の獣医学部設置認可までの一連の手続きについては全て適正に行われており、まったく瑕疵はありませんでした。学園といたしましても、既存学部を含め、自信をもって全ての教育研究活動にあたっておりますので、卒業生の皆様におかれましては、今後とも学園を信頼していただきたいと思います。

【愛媛県文書の内容に関する経緯】

先般、愛媛県文書が公表されたことを受け、その内容について当時の担当者から聞き取りを行いました。その結果、「当時は、獣医学部設置の動きが一時停滞していた時期であり、何らかの打開策を探していた。そのような状況の中で、構造改革特区から国家戦略特区を用いた申請に切り替えれば、活路が見いだせるのではないかと考えから、当時の担当者が実際にはなかった総理と理事長の面会を引き合いに出し、県と市に誤解を招く情報を与えた」ことが確認できましたので、担当者が愛媛県及び今治市に出向き、誤解を招く情報を伝えたことについて謝罪いたしました。卒業生の皆様にも、大変なご心配をおかけし、不安を与えてしまったことと存じます。このことにつきまして、心よりお詫び申し上げます。なお、この件につきまして、私の管理監督責任を含め、当該職員の処分を理事会で決定いたしました。

【学園のコンプライアンス】

今回の一連の問題は、学園の責任であると受け止めています。今春から学園本部に新たに「コンプライアンス推進室」を設けました。今後は、弁護士の助言を受けながら、より一層、法令順守を徹底していく体制を整え、全てのステークホルダーの皆様から信頼される学園となるべく、私ども全教職員、今一度気持ちを引き締めて、これからの教育研究活動、そして学園の管理運営に努めてまいります。

【大学の責務】

今は、在学生のために平穏なキャンパス環境を確保することが、学園の最大の責務であると考えています。これまでも、学園への言論の自由の枠を超えた誹謗中傷や教育研究活動を阻害する言動があるときには、適宜、弁護士などにも相談し、抗議を行っておりますが、今後も学生の皆様の教育環境を守るため、全力を尽くしてまいります。私ども全教職員が一丸となって、これまで以上に教育・学生支援に真摯に取り組み、在学生の皆様が夢と希望を実現できるよう、また、卒業生の皆様が母校に誇りを持ち、これからも実社会で活躍していただけるよう、最大限のサポートをしてまいります。卒業生の皆様にも何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月22日

学校法人 加計学園

理事長 加計 孝太郎